

第10章 生物多様性保全

1 概要

生物多様性とは、地球上の多様な生態系が相互に関わり合う生態系の多様性、生態系を構成する豊かな生物種の多様性、同じ種でも異なる遺伝情報を持つ遺伝子の多様性という3つのレベルによって構成される概念です。人は食料や酸素など様々な生物多様性からの恵み（生態系サービス）を受けながら生きており、生物多様性は人が生きていくためには必要不可欠なものです。

その生物多様性が現在、危機にさらされています。人間活動による影響が主な原因で、地球上の種の絶滅が自然状態の約100～1,000倍のスピードで起きています。

このようなことから平成20年には「生物多様性基本法」が制定されました。また、平成22年に愛知県で開催された生物多様性条約第10回会議（COP10）において「生物多様性戦略計画2011-2020及び愛知目標」が採択されるなど、生物多様性保全への取り組みがより一層求められています。

八千代市内においても、暮らしの変化や都市化等を原因とする生きものの生息環境の悪化や外来生物の侵入等の生物多様性に関する問題が発生しているため、市民を対象とした観察会や学習会を開催するなど、生物多様性保全に関する取り組みを進めています。

2 八千代市の取り組み

(1) 自然保護意識の普及・促進

市民への生物多様性の普及・促進のための取り組みをしています。

① 自然観察会

事業名	里山歩き（萱田・村上地区周辺）
内容	市内に残る谷津・里山の存在に気づく取り組みとして、実施しました。
実施日	令和6年11月1日（金）
参加人数	13人

② 作品展

事業名	作品展「八千代の環境展」
内容	地球温暖化と谷津里山に関するパネルを設置し、市民に八千代市の環境保全事業等を周知した。
応募点数	—
会場	八千代市役所新館1階 受付隣
実施日	令和6年6月18日（火）から令和6年6月28日（金）
来場者数	—

③ 子ども環境教室

事業名	子ども環境教室
内容	ミミズの紙芝居から環境保全についてを学ぶことをテーマとした講座を開催しました。
会場	やちよ農業交流センター第1・第2研修室
実施日	令和6年8月11日（日）
参加人数	14人

(2) 八千代市第3次環境保全計画に基づく谷津・里山の保全・活用等の推進

本市では、平成 23 年 3 月に「八千代市谷津・里山保全計画」を策定し、市と市民（団体）、地権者、事業者との協働による谷津・里山の保全・再生・活用にかかる活動を進めてきましたが、同計画が令和 2 年度で満了することから、他の関連計画とあわせて、八千代市第 3 次環境保全計画に統合し、取組みを一体的に推進することとしました。

現在は八千代市第 3 次環境保全計画の中の取組みの一つとして、谷津・里山の保全・活用等に取り組んでいます。

① 里山整備ボランティア人材育成講座（里山楽校）

谷津・里山を保全・再生・活用するために担い手を育成する講座を開催しています。全 5 回のカリキュラムで里山整備に必要な知識や技術を習得します。

	実施日	実施内容
第 1 回	令和 6 年 10 月 26 日（土）	開講式、講義、ワークショップ
第 2 回	令和 6 年 11 月 16 日（土）	里山整備安全講習（講義、実習）
第 3 回	令和 6 年 11 月 30 日（土）	森林整備の方法（講義、実習）
第 4 回	令和 6 年 12 月 21 日（土）	里山活動体験（活動地見学・竹柵作り）
第 5 回	令和 6 年 1 月 18 日（土）	講義、閉講式

【参加者：12人】



実習の様子（第 3 回：チェーンソーの実習）



実習の様子（第 4 回：伐竹の実習）

② 里山楽習会（里山シンポジウム）

事業名	里山楽習会
内容	市民参加型調査による八千代市の自然環境について
会場	八千代市市民会館 第 4 会議室
実施日	令和 6 年 7 月 13 日（土）
参加人数	24 人

③ 市民ボランティアによる里山保全活動の支援

里山楽校を受講した人を中心に市内各所の里山で里山活動団体が保全活動をしています。

注) 里山活動団体：里山むつみ隊、里山・竹の会、里山フォース会、五蘭会、八千代里山ロック隊、里山・虹の会

④ 希少種の保全活動

市内の生物多様性を保全するため、ヤマトミクリ等、希少生物が生息する環境の保全活動を支援しています。

(ヤマトミクリとは千葉県内で八千代市島田谷津の水路のみに群生が確認されている水生植物です。)

⑤ 外来生物対策

外来生物とは、もともといなかった国や地域に人によって持ち込まれた生きもののことです。それらのうち、特に生態系、農林水産業、人の生命・身体への影響の大きいものを「特定外来生物」として「外来生物法」で指定しています。

八千代市においても特定外来生物が確認されており、千葉県や市民団体等と連携し、駆除に取り組んでいます。

注) 「外来生物法」…正式名称は「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」

八千代市内で確認された特定外来生物：アライグマ、カミツキガメ、ナガエツルノゲイトウ、オオフサモ、オオキンケイギクなど

(3) その他

① ほたるの里づくりの推進

「ほたるの里づくり」はホタルを通して自然の仕組みを理解すると共に、自然を大切にす
る人の輪を広げていければという願いを込めて始められました。市民から寄せられた様々な
ビオトープづくりの要望に基づき、平成4年度に印旛放水路・桑納川水辺空間整備計画の中
で水に親しめる川づくりの一環として位置づけられました。平成5年度からは基礎的な知識
を得るための先進地の視察をはじめ、ホタルや餌となるカワニナの飼育に取り組みました。
平成6年度は里の基礎調査、基本設計を行い、平成7年度から平成9年度にかけて里の環境
整備工事を完成させました。平成10年度にはグラウンドワーク方式による「八千代市ほたる
の里づくり実行委員会」を発足させました。グラウンドワーク方式による実行委員会は市内
でも初めての取り組みです。

八千代市ほたるの里づくり実行委員会は、ホタルも棲める自然環境の保全活動等を実施し、
市は、同委員会とともに生物多様性を維持する自然の保全活動、普及啓発を推進しました。

注) グラウンドワーク方式：地域活動の専門組織を中心に住民、企業、自治体等地域の関
係者がパートナーシップ(協働)を取りながら進めていく方法のこと。

所在地 : 八千代市米本4816

里の面積 : 3,293 m²

水路 全長 約 30 m

幅員 平均 1.5 m

池 約 317 m²

湿地 約 140 m²



ほたるの里 トンボ池付近

[ほたるの里に係る活用等]

	内 容	実施日 (実施期間等)
イベント	八千代市ほたるの里づくり実行委員会総会	令和6年4月13日 (土)
	おやこ生き物探検隊 (年3回)	令和6年7月20日 (土) 令和6年11月9日 (土) 令和7年2月8日 (土)
	ほたるの里で考えよう～SDGs・ESDってなんだろう～	令和6年7月21日 (土)
環境整備	ほたるの里内の除草作業や動植物等の保護など (年間11回、原則、毎月第2土曜日に実施)	令和6年4月～ 令和7年3月
広報活動	会報「ほたるの里だより」の作成、発行 (市内の公共施設、東葉高速鉄道の駅などに配架)	第74号/令和6年6月発行 第75号/令和6年10月発行 第76号/令和7年3月発行

② 環境学習ボランティア講師登録及び紹介事業

環境学習をボランティアで行っていただける市民・団体を受け付け、環境学習を行おうとする市民団体に紹介する制度を平成17年度に発足させました。

ボランティア講師登録数 : 11 (7人、4団体)

3 八千代市第3次環境保全計画の進捗状況

八千代市第3次環境保全計画の進捗状況

環 境 指 標	基準年度値	現 状 値	中間目標値
	2019 年度	2024 年度	2025 年度
谷津・里山保全箇所数	9 件	9 件	12 件
谷津・里山維持の担い手(里山楽校参加者)	118 人	172 人	180 人
特定外来生物または有害鳥獣駆除件数	92 件	62 件	85 件
ほたるの里活用回数	14 回/年	16 回/年	18 回/年
環境ボランティア講師登録数	13 人	11 (7人、4団体)	15 人
環境学習講座等開催数	23 回/年	29 回/年	30 回/年

※環境学習には、生物多様性以外のテーマの催しも含まれています。